

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B1)

(11) 特許番号

特許第6002347号
(P6002347)

(45) 発行日 平成28年10月5日(2016. 10. 5)

(24) 登録日 平成28年9月9日(2016. 9. 9)

(51) Int. Cl.		F I			
FO1P	3/22	(2006.01)	FO1P	3/22	U
FO1P	7/16	(2006.01)	FO1P	7/16	501
FO2D	29/02	(2006.01)	FO2D	29/02	K

請求項の数 4 (全 17 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2016-98488 (P2016-98488)</p> <p>(22) 出願日 平成28年5月17日 (2016. 5. 17)</p> <p>審査請求日 平成28年5月17日 (2016. 5. 17)</p> <p>早期審査対象出願</p>	<p>(73) 特許権者 508251450 中山 善隆 群馬県伊勢崎市昭和町1793-2 レオ パレスキャッスル104</p> <p>(74) 代理人 100165423 弁理士 大竹 雅久</p> <p>(72) 発明者 中山 善隆 群馬県伊勢崎市昭和町1793-2 レオ パレスキャッスル104</p> <p>審査官 北村 亮</p>
--	--

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 車両用エンジン制御装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エンジンの稼働を制御するコントロールユニットと、
前記エンジンの起動及び停止の指示を入力するイグニッションスイッチと、
前記エンジンを冷却する冷却水を循環させる冷却水ポンプと、
前記冷却水が流れるラジエタに送風する冷却ファンと、
前記エンジンのシリンダヘッドの温度を検出する温度センサと、を有し、
前記コントロールユニットは、前記イグニッションスイッチから前記エンジンを停止させる信号が入力された後、前記温度センサで検出される前記シリンダヘッドの温度が所定の基準温度以下になるまで、前記エンジンの稼働を継続させると共に前記冷却水ポンプ及び前記冷却ファンを夫々作動させることを特徴とする車両用エンジン制御装置。

10

【請求項 2】

前記コントロールユニットは、前記シリンダヘッドの温度が前記基準温度よりも高い第2の基準温度以下である場合、前記エンジン、前記冷却水ポンプ及び前記冷却ファンを夫々所定の基準回転数で稼働し、前記シリンダヘッドの温度が前記第2の基準温度よりも高い場合、前記エンジン、前記冷却水ポンプ若しくは前記冷却ファンを夫々の前記基準回転数よりも高い回転数で作動させること特徴とする請求項1に記載の車両用エンジン制御装置。

【請求項 3】

前記冷却水ポンプは、電動式ポンプであり、前記冷却ファンは、電動式ファンであるこ

20